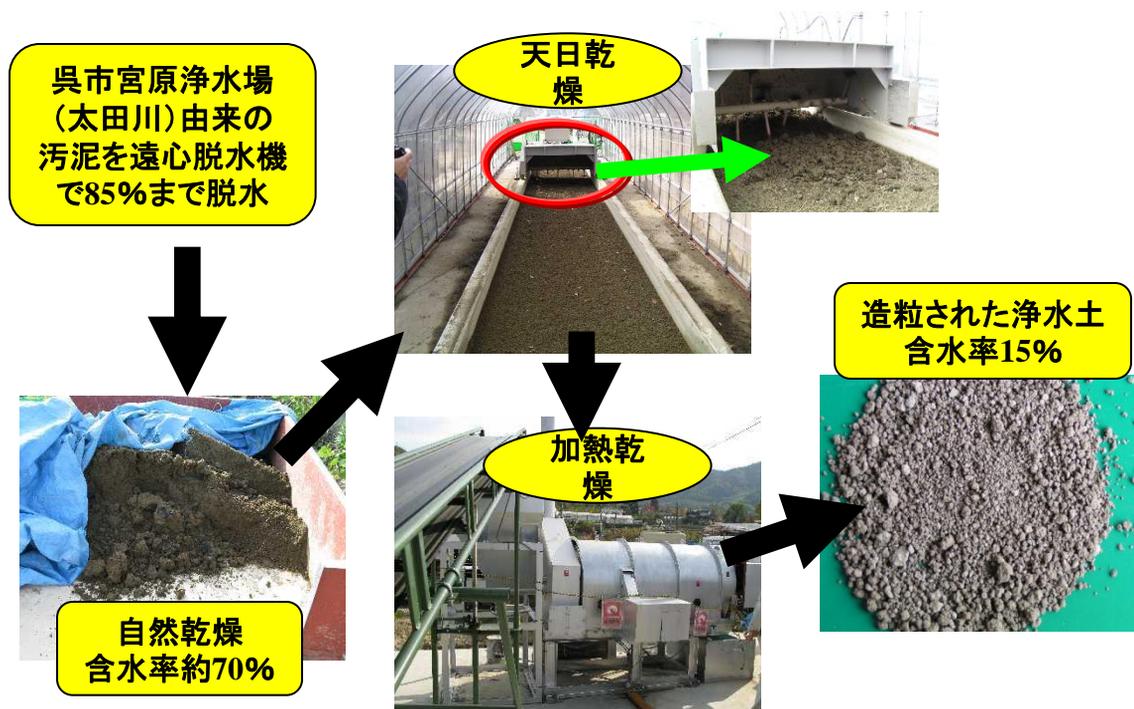


浄水士の花壇苗培地への利用

浄水場で発生する汚泥は、大部分が産業廃棄物として処理されているため、資源として有効利用が求められています。

そこで、浄水汚泥を乾燥し、造粒する装置で作成した造粒浄水士が花壇苗の生育に及ぼす影響を検討しました。



造粒された浄水士とピートモスを容積比で50%ずつ混和した培地でペチュニア、パンジーおよびキンギョソウを栽培すると、生育は慣行培地(ピートモス:マサ土:パーライト:赤玉土=65:15:10:10)とほぼ同等であり、花壇苗の培地として利用が可能です。



培地の種類とペチュニアの生育

培地	草丈 (cm)	株幅 (cm)	地上部 生重 (g/株)	開花日数 ² (日)
慣行土	10.8	17.6	18.9	64.1
浄水士	10.9	19.1	24.2	64.5

²鉢上げ日から第1花が開花した日、または出荷適期までの日数